

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年12月15日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから12月15日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

広報日程の説明の前に、1点おわびがございます。今、この映像がネットで流れておりません。何か不都合がありまして、リアルタイムでYouTubeその他、ニコ動とかで流せない状態になっております。したがって、この映像を御覧になる方は後から御覧になることとなりますので、リアルタイムで御説明できないことについて、現時点でおわびを申し上げます。

それでは、広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まずは1番の原子力規制委員会の関係です。

(1) 第45回原子力規制委員会。議題は4つございます。

議題1、国際規制物資の使用等に関する規則の一部を改正する規則等に係る意見募集の実施について。こちらは11月4日の原子力規制委員会におきまして、保障措置における査察用封印がき損した場合の対応方針が了承されました。その対応方針を踏まえた規則の改正案のほか、関係する訓令と立入検査実施要領の案を報告するとともに、それらの意見募集の実施について委員会に諮るものです。

議題の2つ目です。ウラン廃棄物のクリアランス及び埋設の規制に関する検討(第3回)。こちらは11月4日の原子力規制委員会におきまして、ウラン廃棄物の規制に関する議論が行われました。その結果を踏まえて作成した規則の考え方や要求事項の案を報告するとともに、それらの意見募集の実施について委員会に諮るものです。

議題の3です。基準地震動の策定に係る審査について。こちらは12月9日の原子力規制委員会におきまして、基準地震動の審査に関する見解を取りまとめるよう指示があったことから、その見解の案を委員会に諮るものです。

議題の4です。行政文書の管理の状況について(経過報告)。こちらは原子力規制庁における行政文書の管理の状況に関しまして、1月15日の委員会で報告した後の進捗状況について報告を行うものです。

(1) の関係は以上となります。

(2) 第46回原子力規制委員会臨時会議。こちらは12月21日月曜日の9時半からとなり

ます。議題は、原子力規制委員会と東京電力ホールディングス株式会社経営層による意見交換。こちらはいわゆる東京電力とのCEO会議になります。前回は1月16日でした。

続きまして、2番の審査会合です。1枚飛ばして3ページ目を御覧ください。真ん中より下になります。12月21日月曜日、(9)第1回原子炉等規制法に基づく法令報告の改善に係る公開会合。対応は金子長官官房審議官となります。議題は大きく2つございます。

議題の1つ目ですけれども、こちらは11月11日の原子力規制委員会におきまして、法令報告の対象や手続の改善に関して議論が行われております。その議論の内容と今後の論点について、規制庁から説明を行うものです。

議題の2つ目は、今、申し上げた法令報告の改善に関しまして、事業者から意見を聴取するものです。

続きまして、その下です。(10)第34回もんじゅ廃止措置安全監視チーム。こちらも議題は大きく2つございます。

議題の1つ目は、日本原子力研究開発機構(JAEA)のもんじゅの廃止措置につきまして、来年1月から予定されている原子炉容器からの燃料取り出し作業などの進捗について説明を受けるものです。

議題の2は、令和5年度から開始される廃止措置の第2段階に関しまして、JAEAが第2段階に実施する事項と主な課題などについて説明を受けるものです。

私からは以上となります。

## <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日のヨシノです。

明日の議題の基準地震動の策定に係る審査についてというのは、具体的には何をやるのですか。

○児嶋総務課長 前回の委員会で委員長から指示がありましたけれども、前回の判決を踏まえて、我々として基準地震動の審査に関してどのような考え方で行っているのかということについて、ある程度考え方を示すものです。

○記者 その基準地震動の審査については、委員は、当然それは皆さん知っていられると思うのですけれども、確認をするのですか。それとも何か新たなことをやるというようなことを提案されるのか。その辺はどうなのでしょう。

○児嶋総務課長 今までやってきたことについて、分かりやすく我々のやってきたことの考え方等を示すものです。新たな提案とかがあるわけではありません。

- 記者 それは、規制委員会の議題として広く国民にこういう考え方で基準地震動を策定していますということを解説するということですか。
- 児嶋総務課長 そのとおりです。
- 記者 そうなのは珍しくないですか。
- 児嶋総務課長 でも、7月にも例えば40年の高経年化の話でも見解を示しましたし、そういう意味では前例があると御理解ください。
- 記者 あと、東電の小早川氏などとの経営者との話合いですけれども、今回は何をテーマにされるのですか。
- 児嶋総務課長 まだ決まっていないのですけれども、恐らく7項目とか、最近のトピックが幾つかございますので、あとは廃炉の進捗作業とか、そういう形になろうかと思えます。
- 司会 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。  
それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。  
ありがとうございました。

—了—